



## 2025年11月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年7月7日

上場取引所 東

上場会社名 ジャパニラス株式会社

コード番号 9558

URL https://jna.co.jp

代表者（役職名） 代表取締役会長兼社長（氏名） 西川 三郎

問合せ先責任者（役職名） 常務取締役管理本部長（氏名） 西川 明宏

(TEL) 045(670)7240

半期報告書提出予定日 2025年7月8日

配当支払開始予定日

2025年8月4日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年11月期第2四半期（中間期）の業績（2024年12月1日～2025年5月31日）

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期中間期	5,810	6.5	346	30.5	412	32.7	272	34.0
2024年11月期中間期	5,455	15.2	265	△32.2	310	△25.2	203	△24.8

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年11月期中間期	68.69	68.07
2024年11月期中間期	50.87	50.20

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年11月期中間期	5,397	3,080	57.1
2024年11月期	4,949	2,996	60.5

(参考) 自己資本 2025年11月期中間期 3,080百万円 2024年11月期 2,996百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期	—	47.00	—	48.00	95.00
2025年11月期	—	49.00	—	—	—
2025年11月期(予想)	—	—	—	50.00	99.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年11月期の業績予想（2024年12月1日～2025年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,050	7.5	1,040	9.9	1,130	10.5	800	10.7	200.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年11月期中間期	4,012,400株	2024年11月期	4,009,200株
--------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2025年11月期中間期	49,001株	2024年11月期	49,001株
--------------	---------	-----------	---------

③ 期中平均株式数（中間期）

2025年11月期中間期	3,961,706株	2024年11月期中間期	3,992,264株
--------------	------------	--------------	------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善などにより、景気は緩やかな持ち直しが見られるものの、ロシア・ウクライナ情勢や中東情勢による原材料価格高騰の長期化や、中国経済の減速、米国の関税引き上げ、急激な為替変動などの影響により、先行き不透明な状況で推移しました。

このような中、IT業界においてはDX推進を追い風に市場規模が引き続き拡大傾向を示しております。生成AIを含むAI技術の進化もあり、先端ITの業務活用が加速しており、業界全体でDXを支える基盤技術への需要が高まっております。そのため、IT人材に対する需要が引き続き旺盛となっていることから、当社の先端エンジニアリング事業においては売上高を増加させることができました。また、積極的なエンジニア採用による売上原価の増加と、新卒を含む研修対象者数の増加をエンジニア単価の向上および稼働率の回復により補ったことで売上総利益率は改善しました。販売費及び一般管理費は、更なる成長に向けた事業基盤の整備を進めたことに伴い増加しました。営業外収益は、業界未経験者へ実施した教育研修に対する人材開発支援助成金収入に加え、顧客からの受取手数料により増加しました。

これらの結果、売上高は5,810,732千円(前年同期比6.5%増)、営業利益は346,103千円(前年同期比30.5%増)、経常利益は412,506千円(前年同期比32.7%増)、中間純利益は272,148千円(前年同期比34.0%増)となりました。

当社は先端エンジニアリング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当中間会計期間末の資産合計は、5,397,270千円となり、前事業年度末に比べ447,697千円増加いたしました。主な要因は、流動資産において、現金及び預金が590,116千円増加し、売掛金及び契約資産が172,501千円減少し、固定資産において、投資その他の資産が21,473千円増加したこと等によるものであります。

##### (負債)

当中間会計期間末の負債合計は、2,316,639千円となり、前事業年度末に比べ363,999千円増加いたしました。主な要因は、流動負債において、短期借入金が300,000千円増加し、未払費用が82,492千円増加したこと等によるものであります。

##### (純資産)

当中間会計期間末の純資産合計は、3,080,630千円となり、前事業年度末に比べ83,697千円増加いたしました。これは中間純利益の計上272,148千円、剰余金の配当190,089千円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は57.1%(前事業年度末は60.5%)となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ590,116千円増加し、3,589,680千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は511,260千円(前年同期は217,823千円の増加)となりました。これは主に税引前中間純利益412,506千円を計上したこと、法人税等の支払による支出173,392千円、売上債権の減少172,501千円、未払費用の増加82,492千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は32,807千円(前年同期は10,130千円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出15,696千円、その他投資の増加による支出17,510千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は111,662千円(前年同期は296,392千円の減少)となりました。これは主に短期借入れによる収入300,000千円、配当金の支払による支出189,975千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年1月14日に公表いたしました業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。なお、当該業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年11月30日)	当中間会計期間 (2025年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,999,564	3,589,680
売掛金及び契約資産	1,519,629	1,347,128
その他	48,391	48,494
流動資産合計	4,567,585	4,985,303
固定資産		
有形固定資産	56,984	67,696
無形固定資産	15,306	13,100
投資その他の資産	309,695	331,169
固定資産合計	381,986	411,966
資産合計	4,949,572	5,397,270
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	14,250	35,319
短期借入金	—	300,000
未払費用	851,928	934,420
未払法人税等	173,179	149,994
賞与引当金	197,564	218,280
受注損失引当金	5,285	7,556
その他	498,313	458,949
流動負債合計	1,740,520	2,104,520
固定負債		
長期末払金	212,119	212,119
固定負債合計	212,119	212,119
負債合計	1,952,640	2,316,639
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	22,355	23,174
資本剰余金	87,583	88,402
利益剰余金	2,988,988	3,071,047
自己株式	△101,993	△101,993
株主資本合計	2,996,932	3,080,630
純資産合計	2,996,932	3,080,630
負債純資産合計	4,949,572	5,397,270

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)	当中間会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)
売上高	5,455,397	5,810,732
売上原価	4,126,757	4,355,413
売上総利益	1,328,639	1,455,318
販売費及び一般管理費	1,063,441	1,109,215
営業利益	265,197	346,103
営業外収益		
受取利息	32	1,397
受取手数料	22,023	32,967
助成金収入	22,489	26,377
その他	1,107	6,731
営業外収益合計	45,653	67,473
営業外費用		
支払利息	—	721
固定資産除却損	—	349
営業外費用合計	—	1,070
経常利益	310,851	412,506
税引前中間純利益	310,851	412,506
法人税、住民税及び事業税	118,686	150,208
法人税等調整額	△10,905	△9,849
法人税等合計	107,781	140,358
中間純利益	203,070	272,148

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)	当中間会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	310,851	412,506
減価償却費	8,273	8,351
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△90	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	26,330	20,716
受注損失引当金の増減額(△は減少)	19,155	2,270
受取利息及び受取配当金	△32	△1,397
支払利息	—	721
固定資産除却損	—	349
売上債権の増減額(△は増加)	△10,563	172,501
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△841	3,873
仕入債務の増減額(△は減少)	10,625	21,069
未払費用の増減額(△は減少)	90,245	82,492
未払消費税等の増減額(△は減少)	△70,006	△90,332
その他の流動負債の増減額(△は減少)	5,942	50,854
小計	389,889	683,977
利息及び配当金の受取額	32	1,397
利息の支払額	—	△721
法人税等の支払額	△172,097	△173,392
営業活動によるキャッシュ・フロー	217,823	511,260
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,308	△15,696
無形固定資産の取得による支出	△4,858	—
貸付金の回収による収入	300	300
その他投資の増加による支出	△468	△17,510
その他投資の減少による収入	204	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,130	△32,807
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	300,000
配当金の支払額	△306,441	△189,975
自己株式の取得による支出	△88	—
ストックオプションの行使による収入	10,137	1,638
財務活動によるキャッシュ・フロー	△296,392	111,662
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△88,699	590,116
現金及び現金同等物の期首残高	2,676,239	2,999,564
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,587,539	3,589,680



(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は先端エンジニアリング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間会計期間(自2023年12月1日 至2024年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年2月22日 定時株主総会	普通株式	306,592	77.00	2023年11月30日	2024年2月26日	利益剰余金

2. 基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年7月8日 取締役会	普通株式	188,126	47.00	2024年5月31日	2024年8月2日	利益剰余金

当中間会計期間(自2024年12月1日 至2025年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年2月21日 定時株主総会	普通株式	190,089	48.00	2024年11月30日	2025年2月25日	利益剰余金

2. 基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年7月7日 取締役会	普通株式	194,206	49.00	2025年5月31日	2025年8月4日	利益剰余金

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。